

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題o-キシレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験試験番号

3 3 5 9 (017-005)

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： o-キシレン
- 2) 暴露方法： 半止水式 (毎日試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 連 数： 1濃度区につき4連
- 6) 生物数： 40頭/1濃度区 (1連につき10頭で1濃度区40頭)
- 7) 試験濃度： 対照区, 助剤対照区 (100 ppm), 0.1 ppm, 0.3 ppm, 0.8 ppm, 2.0 ppmおよび 5.0 ppm (公比約2.5)
- 8) 試験液量： 400 ml
- 9) 照 明： 16時間明/8時間暗
- 10) 試験水温： 20±1℃

結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの50%致死濃度 (LC50)  
= 0.637 ppm (95%信頼区間: 0.478~0.848 ppm)
- 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度 (ErC50)  
= 0.935 ppm (95%信頼区間: 0.826~1.058 ppm)
- 3) 最大無作用濃度 (NOECr) = 0.63 ppm
- 4) 対照区と有意差の認められる最低濃度 (LOECr) = 1.66 ppm  
(上記濃度は、全て実測値に基づく値)